

大学入試

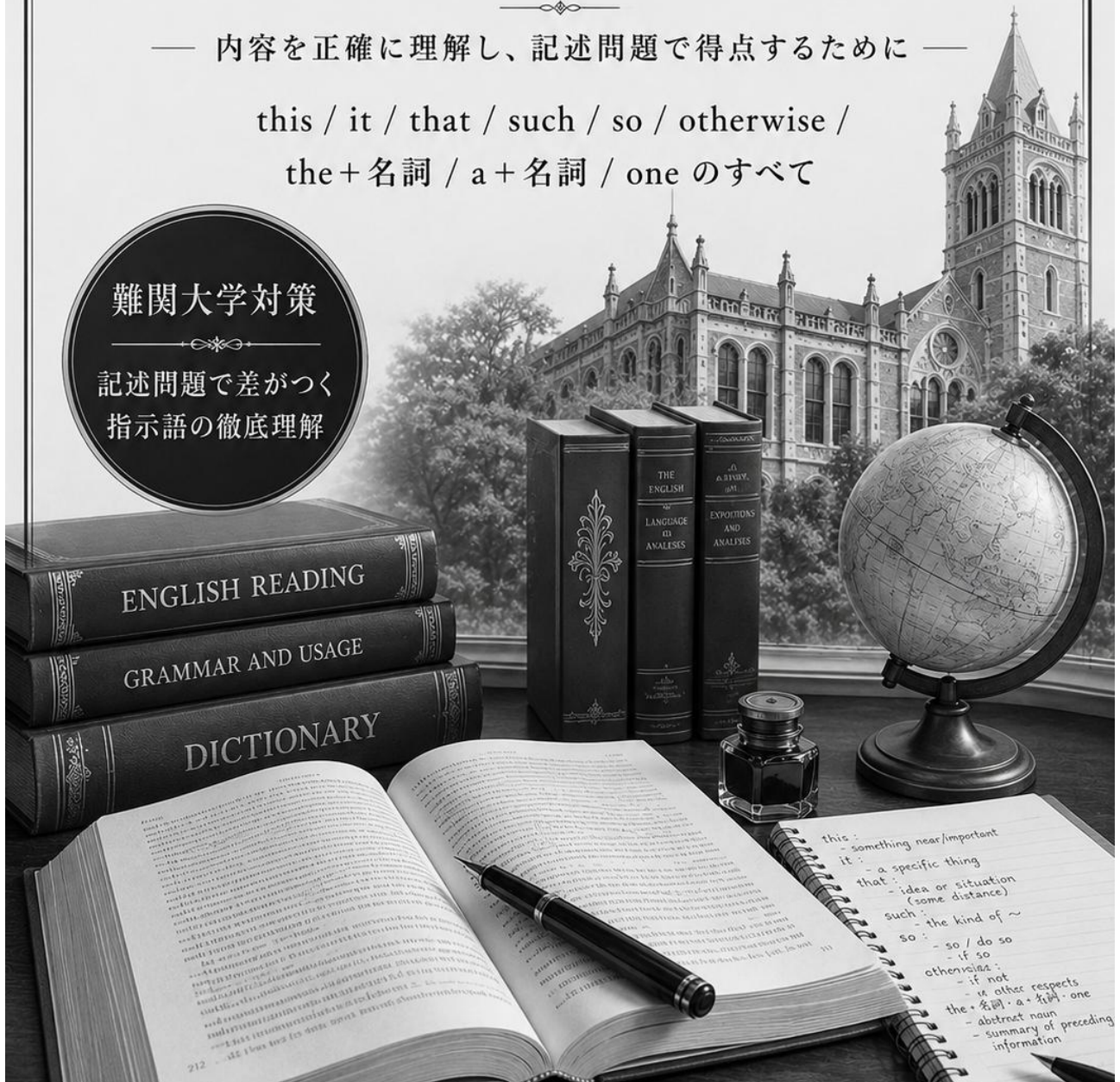
英語長文読解 指示語の読み方

— 内容を正確に理解し、記述問題で得点するために —

this / it / that / such / so / otherwise /
the + 名詞 / a + 名詞 / one のすべて

難関大学対策

記述問題で差がつく
指示語の徹底理解



1	記述問題の実践的技術	5
①	満点を狙いにいかない——80%の答案でよい	5
	記述問題は得点源にできる	6
②	考えながら解答欄に書かない	6
③	答案の「骨格」を先に作る	7
④	字数が足りないときの対処方法	8
1	主語や対象が抜けていないか	8
2	理由や条件が複数ないか	8
3	抽象語を具体化できないか	8
⑤	字数が多すぎるときの対処方法	9
1	本文の具体例を削る	9
2	同じ内容の繰り返しを削る	9
3	長い表現を短い語に置き換える	9
4	不要な修飾語を削る	9
5	背景説明を削る	9
⑥	指定字数は情報量の目安でもある	10
⑦	該当箇所が見つけないときの対処方法	10
1	設問の中心語を確認する	10
2	設問の語の「言い換え」を探す	10
3	論理を示す語を探す	11
4	下線部の近くから確認する	11
5	段落の役割を考える	11
⑧	該当箇所が複数あるときは、共通部分をまとめる	11
⑨	分からない一語に止まりすぎない	12
⑩	時間が足りないときは、部分点を取りに行く	12
2	記述問題の解き方①	14
1	指示表現は、対応箇所を探すための重要な手掛かり	14
2	this が前に述べられた内容を指す場合	14
2-1	this が直前の文の一部を指す場合	15
	例題 1	15
	例題 2	16
2-2	this が直前の文と、その前の文まで含めて指す場合	16
	例題 3	17
	例題 4	18
3	that が前に述べられた内容を指す場合	19
3-1	that が前に述べられた内容全体を受ける場合	19
3-2	that が比較表現で前に出た名詞を受ける場合	20
	例題 5	20

例題 6	21
4 it が前に述べられた内容を指す場合	21
4-1 it が直前の名詞を指す場合	22
例題 7	22
4-2 it が修飾語句を含めた名詞全体を指す場合	23
例題 8	23
it を読むときの確認手順	24
5 the + 名詞が前に述べられた内容を指す場合	24
5-1 the + 名詞が直前の内容をまとめた場合	25
例題 9	25
5-2 the + 名詞が複数の内容をまとめた場合	26
例題 10	26
例題 11	27
6 a + 名詞が前に述べられた内容を表す場合	28
6-1 a + 名詞が前の出来事を分類する場合	29
例題 12	29
6-2 a + 名詞が前の方法や行動を評価する場合	30
例題 13	30
a + 名詞を読むときの確認手順	31
7 代名詞 one が前に述べられた名詞を受ける場合	31
7-1 one が前に出た名詞をそのまま受ける場合	32
例題 14	33
7-2 one に付いた修飾語が別のものの特徴を示す場合	34
例題 15	34
one を読むときの確認手順	35
8 such がついている場合	35
8-1 such + 名詞が前の行動や出来事をまとめる場合	36
8-2 such + 名詞が前の制度や仕組みをまとめる場合	36
例題 16	37
例題 17	38
9 so が前に述べられた内容を表す場合	38
9-1 so が前の判断や内容を受ける場合	39
9-2 so が前の動作や行為を受ける場合	39
例題 18	40
例題 19	40
例題 20	41
10 otherwise が用いられている場合	42
10-1 otherwise が「そうでなければ」を表す場合	43

例題 21.....	43
例題 22.....	44
10-2 otherwise が「その他の点では」を表す場合	44
例題 23.....	45
3 実例 大阪大学の入試問題	47

1 記述問題の実践的技術

— 試験会場で答案を完成させるために —

記述問題では、本文の内容を理解するだけでなく、限られた時間と字数の中で答案を完成させなければなりません。対応箇所がすぐに見つからないこともあれば、書き始めてから字数が足りない、あるいは字数を超えてしまうこともあります。そのたびに最初から考え直しては、試験時間が足りなくなります。

大切なのは、問題ごとに思いつきで答案を書くのではなく、一定の手順に従って処理することです。特に、次の四つを基本原則とします。

≡ 答案作成の基本原則 ≡

① 	基本原則1 満点を狙いすぎず、 <u>80%程度</u> の答案を確実に作る。
② 	基本原則2 考えながら <u>解答欄に書かない</u> 。
③ 	基本原則3 書くべき要素を <u>先にメモする</u> 。
④ 	基本原則4 字数に応じて 情報を <u>加えたり削ったりする</u> 。



① 満点を狙いにいかない——80%の答案でよい

記述問題に取り組むとき、多くの受験生は「模範解答と同じような完璧な答案を書かなければならない」と考えます。しかし、試験会場で最初から満点の答案を作ろうとすると、一つの表現に迷ったり、何度も書き直したりして、必要以上に時間を使ってしまいます。

記述問題では、最初から満点を狙う必要はありません。まず目指すべきなのは、設問に答え、本文中の主要な要素を含んだ80%程度の答案です。

例えば、答案に必要な要素が三つあるとします。

- ・制度の仕組みが複雑である
- ・十分な説明がない
- ・利用者が制度を信用できない

このうち、最も重要な二つを正確に書くことができれば、満点ではなくても、一定の部分点を得られる可能性があります。反対に、三つすべてを美しくまとめようとして長時間考え、最後まで答案を完成できなければ、得点にはつながりません。

試験全体で考えると、一問で満点を取ることも、すべての記述問題で安定して部分点を取る方が重要です。80%程度の答案を早めに完成させ、時間が残ったときに不足している要素や日本語表現を修正する方が、実戦的な解き方です。

記述問題は得点源にできる

多くの受験生は記述問題に苦手意識を持っています。「何を書けばよいか分からない」「模範解答のように書けない」と考え、空欄にしたり、十分な答案を書かなかったりします。

しかし、だからこそ、記述問題は周囲の受験生と差をつけやすい問題でもあります。英文解釈問題では、構文の取り違え、単語の誤訳、修飾関係の誤りなどが答案全体に影響し、一つの重大な誤りによって大きく減点されることがあります。それに対して、内容説明型の記述問題では、必要な要素ごとに点数が配分されていることが多く、表現が模範解答と完全に一致しなくても、本文の重要な内容が含まれていれば部分点を得られる可能性があります。

例えば、六点の問題で三つの必要要素がある場合、一つの要素について二点ずつ配点されていることがあります。このとき、一つの表現に多少不自然な部分があっても、三つのうち二つを正しく書ければ、一定の得点を確保できます。

したがって、記述問題は「完璧に書けなければ得点できない問題」ではありません。むしろ、必要要素を見つけ、答案として残す技術を身につければ、英文全体を正確に訳す英文解釈問題よりも、部分点を積み上げやすい場合があります。

記述問題が苦手な受験生が多いからこそ、基本的な答案作成の技術を身につければ、安定した得点源にできます。

注意

80%でよいというのは、適当に書いてよいという意味ではありません。本文に根拠のある主要な要素を確実に入れ、設問に答える答案を完成させるということです。分からない部分にこだわって答案全体を空欄にするより、分かる部分を正確に書いて部分点を確保します。

② 考えながら解答欄に書かない

記述問題でよくある失敗は、対応箇所を見つけると、内容を十分に整理しないまま解答欄へ書き始めてしまうことです。書いている途中で新しい要素に気づき、文の形を変えようとして、主語と述語が合わなくなったり、同じ内容を繰り返したりします。途中で消して書き直すうちに、答案が読みにくくなることもあります。解答欄は、考える場所ではありません。解答欄は、考え終わった内容を清書する場所です。対応箇所を見つけたら、まず問題用紙の余白に、答案へ入れる内容を短くメモします。完全な文章を書く必要はありません。重要な名詞や動詞を並べるだけで十分です。

例

本文から抜き出した必要要素

- ・複数の情報を集める
- ・異なる意見を比較する
- ・自分で判断する

この三点を確認してから、複数の情報を集めて異なる意見を比較し、自分で判断すること。

のように一文へまとめます。

最初から自然で美しい日本語を作ろうとすると、本文の重要な要素を落としやすくなります。まず内容を確保し、その後で文章の形を整えることが重要です。

注意

メモには、本文の英文を長く写す必要はありません。「誰が」「何をする」「なぜ」「どのような結果になる」といった答案の骨格だけを書きます。メモが長すぎると、メモを作ること自体に時間がかかります。

③ 答案の「骨格」を先に作る

答案を作るときには、最初に文の骨格を決めます。骨格とは、答案の中心となる「主語・述語・文末」です。

「なぜか」と問われているなら、[原因・理由]ため。という形を先に作ります。

「どのようなことか」と問われているなら、[具体的な内容]こと。という形にします。

この骨格を決めずに本文の語句を並べると、文末に近づいたところで文章がつながらなくなったり、理由と結果が逆になったりします。

例

設問

人々がその制度を受け入れなかったのはなぜか。

必要要素

- ・制度の仕組みが複雑
- ・十分な説明がない
- ・信頼できない

骨格

[制度を信頼できなかった理由]ため。

答案

制度の仕組みが複雑で、十分な説明もなく、信頼することができなかったため。

このように、先に答案の終わり方を決めておくと、途中の情報を並べやすくなります。

チェック

- ☐ 設問に合った文末を決めたか。
- ☐ 主語と述語が対応しているか。

- ☐ 理由と結果の関係が逆になっていないか。
 - ☐ 「～ため」「～こと」まで含めて一文が完成しているか。
-

④ 字数が足りないときの対処方法

答案が指定字数より大幅に短い場合、必要な情報が抜けている可能性があります。ただし、字数が短いからといって、意味のない言葉を付け加えてはいけません。本文と設問を見直し、答案に入れるべき要素を落としていないか確認します。

字数が足りないときは、次の順番で見直します。

1 主語や対象が抜けていないか

「利用できないため」だけでは、誰が何を利用できないのか分かりません。インターネット環境の整っていない家庭の子どもが、オンライン教材を十分に利用できないため。のように、必要な主語や対象を補います。

2 理由や条件が複数ないか

本文に A と B の二つの理由があるのに、A だけを書いていないか確認します。and、both、not only、another などを見落としていないかを見直します。

3 抽象語を具体化できないか

× 情報を判断する能力。

○ 複数の情報を比較し、その信頼性を判断する能力。

「能力」「変化」「問題」などの抽象語だけで終わっている場合は、その具体的な内容を補います。

4 因果関係の途中が抜けていないか

× 道路を広げても渋滞が起きること。

○ 道路を広げると自動車を利用する人が増え、その結果、再び渋滞が起きること。

字数を増やすときは、形容詞や副詞を適当に付け加えるのではなく、本文にある必要情報を回収することが基本です。

注意

「非常に」「さまざまな」「多くの」「しっかりと」などを根拠なく加えて字数を増やしてはいけません。本文にない程度・数量・評価を加えると、意味が変わることがあります。

チェック

- ☐ 主語・対象・行動がそろっているか。
 - ☐ 複数の理由や条件を落としていないか。
 - ☐ 抽象語を具体的に説明できているか。
 - ☐ 原因から結果までの過程が抜けていないか。
 - ☐ 本文にない修飾語で字数を増やしていないか。
-

⑤ 字数が多すぎるときの対処方法

指定字数を超えた場合、いきなり文章全体を短くしようとすると、必要な情報まで削ってしまいます。まず、答案を「絶対に必要な要素」と「削っても意味が変わらない部分」に分けます。削るときは、次の順番で考えます。

1 本文の具体例を削る

- × 新聞、テレビ、SNS などの複数の情報源を比較すること。
- 複数の情報源を比較すること。

新聞・テレビ・SNS は「複数の情報源」の具体例なので、字数が厳しい場合は上位概念にまとめられます。

2 同じ内容の繰り返しを削る

- × 自分自身で自ら判断すること。
- 自分で判断すること。
- × 将来の未来を予測すること。
- 未来を予測すること。

3 長い表現を短い語に置き換える

- × 利用することができない。
- 利用できない。
- × 決定を行う。
- 決定する。
- × 人々がお互いに意見を交換する。
- 人々が意見を交換する。

4 不要な修飾語を削る

中心内容に関係しない形容詞や副詞は削れます。ただし、only、almost、rarely、not always など、意味を限定する語は安易に削ってはいけません。

5 背景説明を削る

設問が直接の理由だけを求めているなら、その前に書かれている背景まで答案に入れる必要はありません。読むときには広い文脈を確認しますが、答案には問われた内容だけを書きます。

注意

短くすることを優先して、否定・比較・条件・程度を削ると、本文と異なる意味になることがあります。

- not all「すべてが～というわけではない」
- only「～だけ」
- more than「～より多い」
- unless「～しない限り」
- partly「一部は」

このような内容は、答案の正確性に関わるため、原則として残します。

チェック

- ☐ 具体例を上位概念にまとめられないか。
 - ☐ 同じ意味の言葉を繰り返していないか。
 - ☐ 長い表現を短い日本語に置き換えられないか。
 - ☐ 設問に不要な背景説明が入っていないか。
 - ☐ 否定・限定・比較・条件を誤って削っていないか。
 - ☐ 必要な要素を残したまま字数を減らしているか。
-

⑥ 指定字数は情報量の目安でもある

「40 字以内」であれば、40 字ぴったりに書かなければならないわけではありません。しかし、20 字程度しかない場合は、本文の重要な要素を落としている可能性があります。

反対に、指定字数ぎりぎりまで書こうとして、不要な情報を詰め込む必要もありません。大切なのは、設問に必要な内容が過不足なく入っていることです。

指定字数の八割程度を一つの目安にできますが、これは絶対的な規則ではありません。短い答案でも必要要素がすべて入っていれば得点できます。逆に、字数をほぼ使い切っていても、設問と関係のない内容が多ければ高得点にはなりません。

字数は、答案の内容を整えるための「器」です。器を埋めること自体を目的にはいけません。

チェック

- ☐ 指定字数に対して極端に短くなっていないか。
 - ☐ 字数を埋めるためだけの表現が入っていないか。
 - ☐ 必要な要素を入れた結果として適切な長さになっているか。
 - ☐ 最後に句読点を含めて字数を確認したか。
-

⑦ 該当箇所が見つけないときの対処方法

対応箇所が見つからないときに、本文を最初から何度も読み直すのは効率的ではありません。先に設問の言葉を分析し、本文のどのような表現を探すべきかを決めます。

1 設問の中心語を確認する

例えば、Why did the researchers question the usefulness of the system?

であれば、中心語は次の四つです。

researchers / question / usefulness / system

ただし、本文では同じ語がそのまま使われるとは限りません。question は doubt、be skeptical of、raise concerns about などに、usefulness は effectiveness、value、benefit などに言い換えられることがあります。

2 設問の語の「言い換え」を探す

設問: people could not afford computers

本文: computers were too expensive for some families

設問:the plan failed

本文:the plan did not produce the expected results

単語が一致しなくても、意味が対応していれば該当箇所です。

3 論理を示す語を探す

理由を問う問題なら、because、since、as、for、due to、one reason などを探します。結果を問う問題なら、therefore、thus、as a result、lead to、cause などが手掛かりになります。ただし、答えが必ず論理語の直後にあるとは限りません。コロン、ダッシュ、対比、具体例によって説明されることもあります。

4 下線部の近くから確認する

下線部説明問題では、答えが下線部の近くにある場合が多くあります。まず同じ文、次に前文、続いて後続文を確認します。いきなり段落全体や本文全体を読み直すのではなく、近い範囲から広げます。

5 段落の役割を考える

設問が理由を問っているなら、主張の後に理由が置かれていることがあります。具体的内容を問う場合は、抽象的な文の直後に説明や具体例が続くことがあります。

この段落が「主張・理由・具体例・反論・結論」のどれに当たるのかを考えると、探す範囲を絞ることができます。

注意

同じ単語が見つかっただけで、そこを正解箇所と決めてはいけません。設問と本文の論理関係が一致しているかを確認します。

チェック

- ☐ 設問の中心語を二～四語に絞ったか。
- ☐ 本文中の言い換え表現を考えたか。
- ☐ 理由・結果・対比を示す語を探したか。
- ☐ 下線部に近い文から順番に確認したか。
- ☐ 段落の役割を考えて探す範囲を絞ったか。
- ☐ 単語の一致だけでなく、内容と論理を確認したか。

⑧ 該当箇所が複数あるときは、共通部分をまとめる

設問によっては、答えの根拠が一文にまとまっておらず、複数の文や段落に分かれていることがあります。この場合、どれか一つだけを選ぶのではなく、設問に必要な情報をそれぞれの箇所から集めます。ただし、見つけた内容をすべて答案に並べると長くなります。まず各箇所の共通点を考え、上位の表現へまとめます。

例

本文中の具体的内容

- ・教師から学ぶ
- ・友人から助言を受ける
- ・過去の失敗を振り返る

まとめ

他者から学び、過去の経験を振り返ること。

複数箇所に根拠がある問題では、「情報を集める段階」と「答案にまとめる段階」を分けることが重要です。

チェック

- ☐ 根拠が複数箇所に分かれていないか。
 - ☐ 各箇所から必要な要素だけを抜き出したか。
 - ☐ 具体例を共通する表現にまとめられないか。
 - ☐ 同じ内容を重複して書いていないか。
-

⑨ 分からない一語に止まりすぎない

記述問題では、本文中の一語が分からなくても、文全体や前後関係から答案を作れる場合があります。一つの単語に時間をかけすぎると、文章全体の流れを見失います。

未知語があった場合は、次の点を確認します。

- ・ 品詞は何か
- ・ 肯定的か否定的か
- ・ 原因・結果・対比のどこにあるか
- ・ 前後に言い換えや具体例がないか
- ・ その語を除いても文の骨格を取れるか

未知語の厳密な意味が分からなくても、答案にその語の正確な訳が必要でない場合があります。その場合は、分かる内容を中心に答案をまとめます。

注意

未知語を勝手な意味で断定してはいけません。推測に自信がなければ、その語に強く依存しない表現で答案を作る方が安全です。

チェック

- ☐ 未知語の品詞と文中での役割を確認したか。
 - ☐ 前後に言い換えや具体例がないか探したか。
 - ☐ 一語が分からなくても、文全体の関係をつかめないか。
 - ☐ 不確かな訳語を答案の中心に置いていないか。
-

⑩ 時間が足りないときは、部分点を取りに行く

記述問題を完全に解こうとして一問に長時間を使うと、後の問題に手が回らなくなります。対応箇所は分かるが日本語がうまくまとまらない場合は、まず必要要素を含んだ 80%程度の答案を作り、次の問題へ進みます。満点の答案を目指して何度も書き直すより、主要な要素を二つ、三

つ入れて部分点を確保する方が、試験全体では有利です。時間が残れば、最後に戻って日本語を整えたり、不足する要素を補ったりします。記述問題は、模範解答と同じ表現を書かなければ得点できない問題ではありません。必要な要素が入っていれば、その部分について得点できる可能性があります。

完璧な一問よりも、80%の答案を複数残す。

これが、試験全体の得点を高めるための考え方です。

注意

空欄のまま残せば得点はありません。設問と対応箇所がある程度分かっているなら、本文の中心内容を使って答案を残します。ただし、本文にない推測を書いて解答欄を埋めてはいけません。

チェック

- ☐ 一問に時間をかけすぎていないか。
- ☐ 満点ではなく80%の答案を先に完成させたか。
- ☐ 完璧な表現より必要要素の確保を優先したか。
- ☐ 分かる範囲で本文に基づく答案を書いたか。
- ☐ 後で見直す問題に印を付けたか。
- ☐ 空欄のまま次へ進んでいないか。

答案作成の実践手順

- ① **設問を分類する**
理由・内容・目的・結果・指示内容のどれを答えるか確認する。
- ② **対応箇所を探す**
設問の中心語、言い換え、論理語を手掛かりにする。
- ③ **必要要素をメモする**
誰が・何を・なぜ・どのように、を短く書き出す。
- ④ **答案の骨格を作る**
「～ため」「～こと」など、文末を先に決める。
- ⑤ **80%の答案を作る**
主要な要素を入れ、まず答案を完成させる。
- ⑥ **字数を調整する**
短ければ必要要素を補い、長ければ具体例・重複・不要な背景を削る。
- ⑦ **解答欄へ清書する**
内容が決まってから、読みやすい字で書く。
- ⑧ **時間が残れば改書する**
不足する要素、日本語の不自然さ、字数を見直す。

2 記述問題の解き方①

指示表現から対応箇所を見つける技術

1 指示表現は、対応箇所を探すための重要な手掛かり

英文を読んでいると、次のような表現がよく出てきます。

- this
- that
- this change
- this tendency
- such behavior
- such a system
- otherwise

これらは、それ自体だけでは具体的な内容が分からない表現です。例えば、This caused a serious problem.という一文だけを読んでも、This が何を指しているのかは分かりません。答えは、その前に書かれている内容の中にあります。つまり、指示表現を見つけたときには、その語を日本語に訳すだけでなく、実際に何を指しているのかを前後の文から探す必要があります。記述問題では、指示表現の内容を問う問題が非常によく出題されます。その際に重要なのは、単に直前の名詞を探すことではありません。

指示表現が受けるものには、次のようなものがあります。

- 直前の名詞
- 直前の句や節
- 直前の文の一部
- 直前の文全体
- 直前の文と、さらにその前の文
- 前に述べられた一連の出来事や因果関係

したがって、指示語問題では、どこまでが指示内容に含まれるのかを判断する必要があります。

2 this が前に述べられた内容を指す場合

this は、すでに述べられた内容を受けて、「このこと」「この変化」「この能力」などを表します。ただし、this が指す範囲はいつも同じではありません。

ここでは、次の二つに分けて考えます。

2-1 this が直前の文の一部を指す場合

2-2 this が直前の文と、その前の文まで含めて指す場合

まず直前の文を確認し、それだけで内容が十分に分かるかを判断します。直前の文だけでは因果関係や背景が明確にならない場合は、さらに一文前まで戻ります。

2-1 this が直前の文の一部を指す場合

this の後ろに名詞が続くときは、前の文の中に、その名詞と同じ内容を表す部分がないかを探します。

- 例えば、this ability「この能力」
- this change「この変化」
- this tendency「この傾向」
- this method「この方法」
- this difference「この違い」
- this process「この過程」

などです。この場合、前文全体ではなく、前文の中の特定の部分を指していることが多くなります。

例題 1

下線部 This ability とは、具体的にどのような能力か。日本語で答えなさい。

Human beings have developed the ability to record their experiences in written language and pass them on to people whom they will never meet. This ability has allowed knowledge to accumulate across generations instead of disappearing with the death of each individual.

全訳：人間は、自分たちの経験を文字によって記録し、直接会うことのない人々にまで伝える能力を発達させてきた。この能力によって、知識は一人一人の死とともに失われるのではなく、世代を超えて蓄積されるようになった。

●対応箇所

the ability to record their experiences in written language and pass them on to people whom they will never meet

✓読み方

This ability は第 2 文の主語です。this は前に述べられた内容を受けるため、まず直前の文を確認します。すると、前文の中に the ability という同じ名詞が見つかります。さらに、その能力の具体的な内容が、to 不定詞によって説明されています。必要な内容は次の二つです。

- 自分たちの経験を文字によって記録すること
- その経験を、直接会うことのない人々へ伝えること

この場合、this が指す内容は直前の文の一部に明確に示されています。そのため、それより前まで戻る必要はありません。

¶答案例

自分たちの経験を文字で記録し、直接会うことのない人々に伝える能力。

注意点

解答を、人間が発達させた能力。としてはいけません。これは、どのような能力かを説明していないからです。また、経験を記録する能力。だけでも不十分です。本文には、「記録すること」だけで

なく、「他の人々に伝えること」も含まれています。記述問題では、本文中の必要な要素を落とさずにまとめる必要があります。

例題 2

下線部 This change とは、具体的にどのような変化か。日本語で答えなさい。

As online communication became more common, many employees began working with colleagues whom they had never met in person. This change required companies to develop new ways of building trust among team members.

全訳: オンラインでの意思疎通が一般的になるにつれて、多くの従業員が、直接会ったことのない同僚と働くようになった。この変化によって、企業はチームの構成員の間に信頼を築く新しい方法を開発する必要が生じた。

●対応箇所

many employees began working with colleagues whom they had never met in person

✓読み方

This change は、前文の中で述べられた中心的な変化を受けています。前文は、As online communication became more common という背景から始まっています。その後に、many employees began working with colleagues whom they had never met in person という実際の変化が述べられています。this が直接指しているのは、オンラインでの意思疎通が一般的になったこと自体ではなく、従業員が、直接会ったことのない同僚と働くようになったことです。つまり、前文にある情報をすべて答案に入れるのではなく、下線部が直接受けている中心部分を選びます。

¶答案例

多くの従業員が、直接会ったことのない同僚と働くようになったこと。

✓読み方の■ポイント

前文に複数の内容がある場合は、this の後ろの名詞に注目します。ここでは this change とあるため、前文の中で「変化」と呼べる部分はどこかと考えます。As 節は変化が起きた背景であり、主節が実際の変化です。

2-2 this が直前の文と、その前の文まで含めて指す場合

this が一つの名詞ではなく、前に述べられた出来事全体を受けることがあります。この場合、直前の文だけを読めば、表面的な内容は分かるかもしれませんが、しかし、その出来事がなぜ重要なのか、何に対する結果なのかを理解するには、さらにその前の文まで読む必要があります。

特に、直前の文に次のような表現がある場合は注意が必要です。

- however「しかしながら」
- but「しかし」
- therefore「したがって」
- as a result「その結果」
- nevertheless「それにもかかわらず」
- instead「その代わりに」

これらの語は、前の文との論理関係を示しています。したがって、this の内容を正確につかむためには、直前の文だけでなく、その前の文とのつながりも確認します。

例題 3

下線部 This の指す内容を、日本語で答えなさい。

Many cities have widened roads in an effort to reduce traffic congestion. Wider roads, however, often encourage more people to drive, and the roads soon become crowded again. This has led some urban planners to question whether building more roads can provide a lasting solution.

全訳:多くの都市は、交通渋滞を緩和しようとして道路を拡張してきた。しかし、道路が広くなると自動車を利用する人が増えることが多く、道路はやがて再び混雑する。このことから、一部の都市計画家は、道路をさらに建設することが永続的な解決策になるのか疑問を抱くようになった。

対応箇所:

Many cities have widened roads in an effort to reduce traffic congestion. Wider roads, however, often encourage more people to drive, and the roads soon become crowded again.

☑ 読み方

まず、This の直前の文を確認します。そこには、道路が広くなると自動車を利用する人が増え、道路が再び混雑すると書かれています。しかし、これだけでは、なぜ都市計画家が道路建設に疑問を抱いたのかが十分には分かりません。そこで、その前の文も確認します。第 1 文には、交通渋滞を緩和するために道路を広げたとあります。つまり、都市は渋滞を減らすという目的で道路を広げたのに、結果として自動車を利用する人が増え、再び混雑が起きたのです。この場合、This は次の流れ全体をまとめています。

1. 渋滞を緩和するために道路を広げた
2. 道路が広くなると車を利用する人が増えた
3. その結果、道路が再び混雑した

¶ 答案例

交通渋滞を緩和するために道路を広げても、自動車を利用する人が増え、道路が再び混雑すること。

なぜ第 1 文まで含めるのか

直前の文だけを使って、道路を広げると自動車を利用する人が増え、道路が再び混雑すること。と答えても、指示内容の中心は表せています。ただし、第 1 文まで含めると、渋滞を減らすために行った対策が、結局は再び渋滞を生んだという逆説的な関係がはっきりします。設問が「This の指す内容」を詳しく説明させる問題であれば、この因果関係まで含めた方が、より完成度の高い答案になります。

例題 4

下線部 This の指す内容を、日本語で説明しなさい。

Schools introduced digital devices in the hope that students would have easier access to information. However, some students began switching constantly between educational materials, messages, and entertainment. This made it increasingly difficult for them to concentrate on a single task for a long period.

全訳：学校は、生徒が情報をより簡単に利用できることを期待して、デジタル機器を導入した。しかし、生徒の中には、教材、メッセージ、娯楽の間を絶えず切り替えるようになった者もいた。このことによって、生徒たちは一つの課題に長時間集中することがますます難しくなった。

●対応箇所

直接の対応箇所：

some students began switching constantly between educational materials, messages, and entertainment

文脈を含めて考える場合：

Schools introduced digital devices in the hope that students would have easier access to information.

However, some students began switching constantly between educational materials, messages, and entertainment.

✔読み方

This が直接受けているのは、直前の文にある、生徒が教材、メッセージ、娯楽の間を絶えず切り替えるようになったことです。したがって、基本的には直前の文の内容を答えれば十分です。

- ・ しかし、その前の文まで読むと、情報を利用しやすくする目的でデジタル機器を導入した
- ・ ところが、生徒が複数の情報の間を絶えず移動するようになった

という逆接の流れが見えてきます。

基本㊦答案例

生徒が、教材やメッセージ、娯楽の間を絶えず切り替えるようになったこと。

文脈まで含めた㊦答案例

情報を利用しやすくするためにデジタル機器を導入した結果、生徒が教材やメッセージ、娯楽の

間を絶えず切り替えるようになったこと。

答案にどこまで入れるか

指示語が直接受ける内容だけを問われている場合は、基本答案で十分です。一方、設問が出来事の背景や因果関係まで説明させるものであれば、前の文の内容も含めます。つまり、読むときは広く確認し、答案には必要な範囲だけを書くことが重要です。

3 that が前に述べられた内容を指す場合

that は、前に述べられた内容を受けて、「そのこと」「それ」を表します。this と that には細かなニュアンスの違いがありますが、大学入試では、その違いを厳密に訳し分けることよりも、that が具体的に何を受けているのかを正確に読み取ることの方が重要です。

that は、前に述べられた内容全体を受ける場合もあれば、比較表現の中で名詞の繰り返しを避けるために用いられる場合もあります。

例えば、

- That is why ...
- because of that
- in spite of that
- that of ...
- those of ...

などが現れた場合は、that が何を受けているのかを文脈から判断する必要があります。

ここでは、次の二つに分けて考えます。

3-1 that が前に述べられた内容全体を受ける場合

3-2 that が比較表現で前に出た名詞を受ける場合

まず、that が単独で用いられているのか、それとも that of ～ や those of ～ の形になっているのかを確認します。その後、前文や前の節に戻り、that が具体的に何を表しているのかを考えます。

記述問題では、that を単に「そのこと」「それ」と訳すだけでは十分ではありません。that が受けている内容や名詞を本文に即して具体的に説明することが重要です。

3-1 that が前に述べられた内容全体を受ける場合

このタイプでは、that は前文で述べられた考え・出来事・判断・理由などを受けます。

例えば、

- That is why ...
- because of that
- despite that
- in spite of that

などです。この場合、that は一語ではなく、前文で述べられた内容全体を指しています。したがって、答案では、「そのこと」と書くだけではなく、何を指しているのかを前文から具体的に説明し

ます。

3-2 that が比較表現で前に出た名詞を受ける場合

このタイプでは、名詞の繰り返しを避けるために、

- that of ...
- those of ...

という形で用いられます。

例えば、

the population of Japan is larger than that of Australia では、that = population を表しています。この場合の that は、前に出た名詞そのものを受けています。ただし、同じ名詞であっても、別の対象について述べるために用いられている点が特徴です。記述問題では、that を単に「それ」とするのではなく、どの名詞を受けているのかを具体的に説明することが重要です。

例題 5

設問

下線部 That の指す内容を、日本語で答えなさい。

Some people believe that intelligence is fixed at birth and cannot be substantially changed through effort. That is a view that many psychologists now reject.

全訳: 知能は生まれたときに固定され、努力によって大きく変えることはできないと考える人もいる。それは、現在では多くの心理学者が否定している見方である。

対応箇所:

intelligence is fixed at birth and cannot be substantially changed through effort

☑ 読み方

That は、直前の名詞一語を受けているわけではありません。前文の believe の目的語となっている that 節全体を受けています。その内容は次の二つです。

- 知能は生まれたときに固定される
- 努力によって大きく変えることはできない

これらをまとめて、「考え」や「見方」として答案にします。

◀ 答案例

知能は生まれたときに固定され、努力によって大きく変えることはできないという考え。

注意点

下線部の That だけを見て、それ。と訳しても、記述問題の答案にはなりません。「それ」が具体的に何なのかを、日本語で説明する必要があります。

例題 6

下線部 that of younger children の that は、具体的に何を表しているか。日本語で答えなさい。

The attention span of older children is generally longer than that of younger children, although considerable individual differences remain.

全訳：年長の子どもの集中できる時間は、かなりの個人差はあるものの、一般に年少の子どもの集中できる時間よりも長い。

対応箇所：

the attention span

☑ 読み方

この that は、前の文の内容全体を指す that ではありません。比較表現の中で、同じ名詞をもう一度繰り返すのを避けるために用いられています。that of younger children = the attention span of younger children となります。英語では、同じ名詞を繰り返すと重くなるため、単数名詞の代わりに that、複数名詞の代わりに those を使うことがあります。

¶ 答案例

年少の子どもの集中できる時間。

注意点

次の二つを区別しましょう。That is a view many people reject. この That は、前文の内容全体を受けます。the climate of Japan is different from that of Canada この that は、the climate の繰り返しを避けています。同じ that でも、文法上の働きが異なります。

4 it が前に述べられた内容を指す場合

it は、前に述べられた特定の人・物・事柄を受けて、「それ」を表します。this や that が前の文全体や内容を受けることが多いのに対し、it は前に一度述べられた同じものそのものを指すことが最も大きな特徴です。

ただし、it が受けるのは名詞一語とは限りません。その名詞を説明している関係詞節や分詞、前置詞句なども含めて受けることがあります。

ここでは、次の二つに分けて考えます。

3-1 it が直前の名詞を指す場合

3-2 it が修飾語句を含めた名詞全体を指す場合

まず、it の直前にある単数名詞を確認します。その後、その名詞に関係詞節や前置詞句などの修飾語が付いていないかを確認します。大学入試の記述問題では、名詞だけを書けば不十分で、その名詞を限定している内容まで答案に含めることが求められる場合が少なくありません。

4-1 it が直前の名詞を指す場合

it は、前に一度述べられた特定の人・物・事柄そのものを指します。

例えば、

- a bicycle → it
- the company → it
- the library → it
- the program → it
- the device → it

などです。

この場合、まず直前の単数名詞を探します。ただし、単に最も近い名詞を選べばよいわけではありません。文中でその名詞が意味の上で自然につながるかどうかを確認する必要があります。

例題 7

下線部 it とは、具体的に何を指すか。日本語で答えなさい。

Last year, the city introduced a new bicycle-sharing program that allows people to borrow bicycles from hundreds of stations throughout the city. Although many residents welcomed it at first, some later complained that there were not enough bicycles available during the busiest hours.

全訳: 昨年、その市は、市内の何百か所もの貸出所で自転車を借りることのできる新しい自転車共有制度を導入した。当初、多くの住民はそれを歓迎したが、後になって、最も混雑する時間帯には利用できる自転車が十分ではないと不満を述べる人もいた。

●対応箇所

a new bicycle-sharing program

✓読み方

it は、a new bicycle-sharing program を受けています。まず、it の直前にある単数名詞を探すと、program が見つかります。さらに、welcomed(歓迎する)の目的語として自然なもの、この制度です。したがって、この it は、市が導入した新しい自転車共有制度そのものを指しています。

¶答案例

市が導入した新しい自転車共有制度。

(?) 不十分な答案

制度。

制度ということは分かりますが、「どのような制度か」が十分に示されていません。

■ポイント

まず直前の単数名詞を探し、その名詞が文の意味に合うかどうかを確認します。

4-2 it が修飾語句を含めた名詞全体を指す場合

大学入試では、このタイプが特に重要です。it は名詞だけではなく、その名詞を説明している

- 関係詞節
- 現在分詞・過去分詞
- 前置詞句
- 不定詞

なども含めた内容全体を受けることがあります。そのため、記述問題では、名詞だけを書いても十分ではなく、「どのような○○か」まで説明することが求められます。

例題 8

下線部 it とは、具体的に何を指すか。日本語で説明しなさい。

A research team developed a portable water purification device that can provide safe drinking water even in areas where electricity is unavailable after natural disasters. Before making it available to local communities, the researchers tested it under a wide variety of environmental conditions for more than six months.

全訳:ある研究チームは、自然災害の後で電気が利用できない地域でも安全な飲み水を供給できる携帯型浄水装置を開発した。研究者たちは、それを地域社会で利用できるようにする前に、六か月以上にわたり、さまざまな環境条件の下でその装置を試験した。

●対応箇所

a portable water purification device that can provide safe drinking water even in areas where electricity is unavailable after natural disasters

✓読み方

本文では、device という名詞だけでなく、

- 携帯型であること
- 浄水装置であること
- 自然災害後に電気が利用できない地域でも使えること
- 安全な飲み水を供給できること

まで説明されています。it は、この装置全体を受けています。したがって、答案では単に「浄水装置」と書くのではなく、その特徴まで含めて説明します。

¶答案例

自然災害後に電気が利用できない地域でも安全な飲み水を供給できる携帯型浄水装置。

(?)不十分な答案

浄水装置。

本文では「どのような浄水装置か」が重要です。「携帯型」であることや「災害時にも利用できること」が抜けると、本文の内容を十分に説明したことにはなりません。

■ポイント

it は、前に出てきた名詞そのものを受けることが多いですが、大学入試の記述問題では、名詞だけでなく、その名詞を限定している関係詞節・分詞・前置詞句なども答案に含めることが高得点につながります。

it を読むときの確認手順

- ① it の直前にある単数名詞を探す。
- ② その名詞が文の意味に合うか確認する。
- ③ その名詞に修飾語句が付いていないか確認する。
- ④ 答案では、「どのような〇〇か」まで具体的に書く。

チェック

- ☐ it はどの単数名詞を受けているか。
 - ☐ その名詞は文法的にも意味の上でも自然につながるか。
 - ☐ 関係詞節・分詞・前置詞句などの修飾内容を落としていないか。
 - ☐ 「それ」と書いたままで終わっていないか。
 - ☐ 本文で説明されている特徴まで答案に含めているか。
-

5 the＋名詞が前に述べられた内容を指す場合

the は「その～」と訳されることが多い語ですが、記述問題では、the の後ろにある名詞だけを訳して終わってはいけません。the＋名詞は、前に述べられた具体的な内容を、一つの抽象名詞でまとめ直した表現であることが非常に多くあります。

例えば、

- the decision
- the idea
- the problem
- the change
- the system
- the practice
- the policy

などが現れた場合、前文には decision や problem という同じ名詞が書かれていないことも少なくありません。

その代わり、

- 何を決定したのか
- どのような問題なのか
- どのような制度なのか
- どのような方針なのか

という具体的な内容が前文で説明されています。ここでは、次の二つに分けて考えます。

6-1 the＋名詞が直前の内容をまとめた場合

6-2 the + 名詞が複数の内容をまとめた場合

まず、the の後ろにどのような名詞が置かれているかを確認します。その後、「その抽象名詞の中身」が前文のどこで説明されているかを探します。記述問題では、抽象名詞そのものではなく、その具体的な内容を書くことが重要です。

5-1 the + 名詞が直前の内容をまとめた場合

このタイプでは、直前の文に述べられた内容を、the + 抽象名詞でまとめています。

例えば、

- the decision
- the policy
- the announcement
- the proposal
- the agreement

などです。この場合、「決定」「方針」といった抽象名詞を書くのではなく、「何を決定したのか」「どのような方針なのか」を前文から具体的に説明する必要があります。

例題 9

下線部 the decision とは、具体的にどのような決定か。日本語で説明しなさい。

After several months of discussion, the city council finally decided to close the old public library and build a much larger one near the central station. Although many residents were surprised by the decision, they gradually came to understand the reasons for it.

全訳：数か月にわたる議論の末、市議会は古い市立図書館を閉鎖し、中央駅の近くに、より大きな図書館を建設することを最終的に決定した。多くの住民はその決定に驚いたが、次第にその理由を理解するようになった。

●対応箇所

decided to close the old public library and build a much larger one near the central station

☑読み方

the decision の前には、

- 古い市立図書館を閉鎖すること
- 中央駅近くに、より大きな図書館を建設すること

が述べられています。the decision は、「決定」という名詞だけを指しているわけではありません。何を決定したのかという具体的な内容全体をまとめた表現です。

¶答案例

古い市立図書館を閉鎖し、中央駅近くにより大きな図書館を建設するという決定。

(?)不十分な答案

図書館についての決定。

これでは、「どのような決定なのか」が説明されていません。

■ポイント

the decision が現れたら、「何を決定したのか」を前文から具体的に探します。

5-2 the + 名詞が複数の内容をまとめた場合

大学入試では、一つの出来事だけではなく、前文で説明された複数の内容や状況全体を、the + 抽象名詞でまとめることも少なくありません。

例えば、

- the problem
- the situation
- the change
- the trend
- the practice

などです。この場合は、一つの文だけを見るのではなく、前文全体を読み、「どのような状況をまとめているのか」を考えることが重要です。

例題 10

下線部 the problem とは、具体的にどのような問題か。日本語で答えなさい。

Many people rely on social media as their main source of news. However, they sometimes share articles after reading only the headlines without checking whether the information is accurate. The problem has become increasingly serious as false information spreads rapidly online.

全訳: 多くの人は、ニュースを得る主な手段として SNS を利用している。しかし、情報が正確かどうかを確認せず、見出しだけを読んで記事を共有してしまうことがある。この問題は、誤った情報が急速に広がるにつれて、ますます深刻になっている。

●対応箇所

share articles after reading only the headlines without checking whether the information is accurate

☑読み方

本文には problem という語は出てきません。しかし、

- 見出しだけを読むこと
- 内容を確認しないこと
- そのまま記事を共有してしまうこと

という一連の問題行動が説明されています。the problem は、それらをまとめた表現です。

¶答案例

情報が正確かどうかを確認せず、見出しだけを読んで記事を共有してしまうという問題。

(?)不十分な答案

SNS の問題。

本文で問題とされているのは SNS そのものではなく、情報を確認せずに共有する行動です。

■ポイント

the problem が現れたら、「何が問題なのか」を具体的な行動まで含めて説明します。

例題 11

下線部 the policy とは、具体的にどのような方針か。日本語で説明しなさい。

The company announced that all employees would be allowed to work from home up to three days a week unless their jobs required them to be in the office. The policy was introduced to improve employees' work-life balance while maintaining productivity.

全訳:その会社は、職務上出社が必要な場合を除き、すべての従業員が週三日まで在宅勤務できるようにすると発表した。その方針は、生産性を維持しながら、従業員の仕事と生活の調和を改善するために導入された。

●対応箇所

all employees would be allowed to work from home up to three days a week unless their jobs required them to be in the office

✓読み方

policy という語だけでは、「どのような方針か」は分かりません。

本文では、

- 全従業員が対象であること
- 週三日まで在宅勤務できること
- 出社が必要な職種を除くこと

という方針の内容が具体的に説明されています。the policy は、それらの内容全体をまとめた表現です。

¶答案例

職務上出社が必要な場合を除き、全従業員が週三日まで在宅勤務できるようにする方針。

(?)不十分な答案

在宅勤務の方針。

本文では、対象者や条件まで説明されています。それらを含めて答えることが重要です。

■ポイント

the policy が現れたら、「どのような方針なのか」を前文から具体的にまとめます。

the + 名詞を読むときの確認手順

① the の後ろの名詞を確認する。

- ② その抽象名詞の中身を前文から探す。
- ③ 同じ名詞を探すのではなく、内容を説明している部分を探す。
- ④ 答案では、「どのような○○か」を具体的に書く。

チェック

- ☐ the の後ろは抽象名詞ではないか。
 - ☐ 「何を」「どのような」という内容まで説明しているか。
 - ☐ 抽象名詞だけを書いて終わっていないか。
 - ☐ 本文の条件・対象・目的を落としていないか。
-

6 a+名詞が前に述べられた内容を表す場合

a は「一つの」「ある」という意味を表します。しかし、記述問題では、その意味だけを確認して終わってはいけません。

a+名詞は、前に述べられた具体的な出来事・行動・方法などを、「～という一つの○○」として分類したり、抽象的な名詞で言い換えたりする表現として用いられることがあります。

the+名詞が、すでに述べられた特定の内容を「その○○」として受けるのに対し、a+名詞は、前に述べられた内容を、一つの種類・性質・事例として捉え直すことが多いのです。

例えば、

- a decision
- a solution
- a problem
- a mistake
- a possibility
- a challenge
- a reason
- a sign
- a reminder
- a result

などが現れた場合は、その名詞だけを訳すのではなく、

- どのような問題なのか
- どのような解決策なのか
- 何を示す兆候なのか
- どのような可能性なのか

という具体的な内容を前後から探します。

ここでは、次の二つに分けて考えます。

6-1 a+名詞が前の出来事を分類する場合

6-2 a+名詞が前の方法や行動を評価する場合

まず、a の後ろに置かれている抽象名詞を確認します。その後、その抽象名詞が、前に述べられ

たどの出来事・行動・方法をまとめたものなのかを考えます。記述問題では、problem や solution などの抽象名詞ではなく、その具体的な中身を書き戻すことが重要です。

6-1 a + 名詞が前の出来事を分類する場合

このタイプでは、前に述べられた出来事や状況を、

- a problem
- a mistake
- a challenge
- a possibility
- a result

などの抽象名詞で分類します。例えば、本文である行動が説明された後に a problem とあれば、その行動を「一つの問題」と捉え直しています。この場合、答案では「問題」とだけ書くのではなく、何が問題なのかを前文から具体的に示します。

例題 12

下線部 a problem とは、具体的にどのような問題か。日本語で説明しなさい。

Many people throw away perfectly usable clothes simply because they are no longer fashionable. This creates a problem for local governments, which must spend increasing amounts of money collecting and disposing of unnecessary waste.

全訳: 多くの人は、まだ十分に着られる服であっても、流行遅れになったという理由だけで捨ててしまう。そのことは、不要なごみを回収・処分するために、ますます多くの費用を負担しなければならない地方自治体にとって、一つの問題となっている。

●対応箇所

Many people throw away perfectly usable clothes simply because they are no longer fashionable.

☑読み方

a problem の内容は、前文で具体的に説明されています。

問題とされているのは、

- まだ十分に着られる服を
- 流行遅れになったという理由だけで
- 捨ててしまうこと

です。

a problem は、この具体的な行動を「一つの問題」として分類した表現です。

したがって、答案では「ごみの問題」と大まかにまとめるのではなく、どのような行動が問題なのかを具体的に書く必要があります。

¶答案例

まだ十分に着られる服を、流行遅れになったという理由だけで捨ててしまうという問題。

(?)不十分な答案

ごみの問題。

本文で直接問題とされているのは、ごみそのものではありません。

まだ使うことのできる服を、流行遅れという理由だけで捨ててしまう行動が問題とされています。

■ポイント

a problem が現れたら、

「何が問題なのか」

を前文から具体的に探します。problem という語が前文にある必要はありません。前文に説明された行動や状況を、後から「問題」と分類している場合があります。

6-2 a+名詞が前の方法や行動を評価する場合

a+名詞は、前に述べられた方法や行動を、

- a solution
- a good way
- a useful approach
- a possible answer
- a practical measure

などと評価する場合にも用いられます。

この場合は、「解決策」「方法」とだけ答えるのではなく、どのような方法が解決策と評価されているのかを具体的に説明します。

例題 13

下線部 a solution とは、具体的にどのような解決策か。日本語で答えなさい。

Instead of widening more roads, the city decided to improve public transportation by increasing the number of buses and extending railway services into suburban areas. Many experts regarded this as a solution to the growing traffic congestion.

全訳：道路をさらに広げる代わりに、その市は、バスの本数を増やし、鉄道を郊外まで延伸することで公共交通機関を改善することを決定した。多くの専門家は、それを深刻化する交通渋滞への一つの解決策と考えた。

●対応箇所

improve public transportation by increasing the number of buses and extending railway services into suburban areas

✓読み方

solution という語だけでは、どのような方法で交通渋滞を解決するのかは分かりません。

本文では、

- バスの本数を増やすこと
- 鉄道を郊外まで延伸すること
- それによって公共交通機関を改善すること

が説明されています。これらの方法全体が、a solution の具体的な内容です。また、本文では this が直前の内容全体を受け、その this を a solution と評価しています。したがって、this = 公共交通機関を改善するという市の方針 a solution = その方針を交通渋滞への解決策として分類した表現と考えることができます。

¶ 答案例

バスの本数を増やし、鉄道を郊外まで延伸して公共交通機関を改善するという解決策。

(?) 不十分な答案

公共交通機関を改善すること。

大まかな内容は捉えていますが、本文では、バスの増便と鉄道の延伸という具体的方法まで示されています。

記述問題では、「どのように改善するのか」という内容まで含めて答えることが重要です。

■ ポイント

a solution が現れたら、

「何を、どのような方法で解決するのか」

を確認します。

本文に具体的な手段や条件が示されている場合は、それらも答案に含めます。

a + 名詞を読むときの確認手順

- ① a の後ろにある抽象名詞を確認する。
- ② その抽象名詞が、前のどの出来事・行動・方法を受けているかを探す。
- ③ 「どのような〇〇か」を具体的に説明する。
- ④ 抽象名詞だけで終わらず、本文の具体的な内容を書き戻す。

チェック

- ☐ a の後ろは problem、solution、challenge などの抽象名詞ではないか。
- ☐ 前文に具体的に説明された出来事や行動を探したか。
- ☐ 「問題」「解決策」「可能性」だけで終わっていないか。
- ☐ 本文に示された条件・対象・方法まで含めているか。
- ☐ 何を分類・評価している表現なのかを確認したか。

7 代名詞 one が前に述べられた名詞を受ける場合

one は、「一つ」という意味だけでなく、前に出てきた名詞の繰り返しを避ける代名詞として用いられます。この場合の one は、前に出てきた名詞と同じ種類の人・物を表します。

ここで最も重要なのは、it との違いです。

- it: 前に出た同じものそのものを指す。

- one:前に出たものと同じ種類の別のものを指す。

例えば、

I lost my umbrella, so I bought a new one.

では、one は umbrella を受けていますが、なくした傘そのものではありません。

a new one

= a new umbrella

であり、新しく買った別の傘を表します。

したがって、記述問題では、

one = 前に出た名詞を書けばよい

と単純に考えてはいけません。

one が受ける名詞を確認したうえで、

- 前に出たどの名詞を受けているのか
- その名詞と同じ種類の、どのような別のものなのか
- one にどのような修飾語が付いているか

を考える必要があります。

ここでは、次の二つに分けて考えます。

7-1 one が前に出た名詞の繰り返しを避ける場合

7-2 one に付いた修飾語が別のものの特徴を示す場合

まず、one に置き換えられている名詞を探します。その後、one の前後にある形容詞・分詞・関係詞節などを確認し、前に出た名詞と同じ種類の、どのような別のものを表しているのかを具体的に捉えます。

なお、現在の全体構成では one は第 7 項目なので、8-1・8-2 ではなく、7-1・7-2 にする必要があります。

この形なら、大学入試で頻出する a new one、a larger one、a more detailed one の説明として十分に正確です。

7-1 one が前に出た名詞をそのまま受ける場合

one は、前に出た可算名詞の単数形を受け、その名詞の繰り返しを避けます。

例えば、

- a book → a new one
- a car → a smaller one
- a method → a better one
- a map → the original one
- a dictionary → a detailed one

などです。この場合、one が何を受けているかを確認するには、one を前に出た名詞に置き換えてみます。

例えば、the original one = the original map のように、意味が自然につながるかを確認

します。ただし、one は前に出たものそのものを指すのではなく、同じ種類に属する別のものを表すのが基本です。

例題 14

下線部 one とは、具体的に何を指すか。日本語で答えなさい。

The museum displayed an ancient map that had been badly damaged over the centuries. Because the original was too fragile to move, visitors were shown a carefully made copy instead of the original one.

全訳: その博物館には、何世紀もの間にひどく損傷した古い地図が展示されていた。原本は移動させるには傷みが激しすぎたため、来館者には原本ではなく、精巧に作られた複製が展示された。

●対応箇所

an ancient map that had been badly damaged over the centuries

✓読み方

one は、前に出てきた map を受けています。したがって、the original one = the original map と置き換えることができます。

本文では、

- the original
- a carefully made copy

が対比されています。

そのため、the original one は、単なる「古い地図」ではなく、複製に対する古い地図の原本を表しています。また、map には、that had been badly damaged over the centuries という関係詞節が付いています。

したがって、答案では、可能であれば「何世紀もの間に損傷した」という特徴まで含めてまとめます。

¶答案例

何世紀もの間にひどく損傷した古い地図の原本。

(?) 不十分な答案

古い地図。

これでは、原本と複製の区別が示されていません。

本文では、

the original one

a carefully made copy

の対比が重要です。

■ポイント

one が現れたら、まず one を前に出た名詞に置き換えます。そのうえで、one の前にある original、new、larger などの修飾語を含め、どのような同種のものかを説明します。

7-2 one に付いた修飾語が別のものの特徴を示す場合

one には、

- 形容詞
- 比較級
- 過去分詞
- 現在分詞
- 関係詞節
- 前置詞句

などが付くことがあります。

例えば、

- a new one
- a larger one
- a more useful one
- one made of recycled materials
- one that includes detailed explanations

などです。この場合、one が受ける名詞だけでなく、one に付いている修飾語が、新しい別のものの特徴を表します。

記述問題では、その修飾内容まで含めて答える必要があります。

例題 15

下線部 one とは、具体的に何を指すか。日本語で説明しなさい。

Many students first choose an inexpensive dictionary because they think any dictionary will be enough. Later, however, many of them decide to buy a more detailed one that includes example sentences and explanations of word usage.

全訳: 多くの生徒は、どのような辞書でも十分だと考え、最初は安価な辞書を選ぶ。しかし後になって、例文や語法の説明が載っている、より詳しい辞書を買うことを決める人が多い。

●対応箇所

dictionary

☑読み方

one は、前に出てきた dictionary を受けています。したがって、a more detailed one = a more detailed dictionary と置き換えることができます。ただし、one が指しているのは、最初にした an inexpensive dictionary そのものではありません。

本文では、

- 最初にする安価な辞書
- 後になって買う、より詳しい辞書

が対比されています。さらに、one には、that includes example sentences and explanations of word usage という関係詞節が付いています。したがって、one が表すのは、単なる「別の辞書」ではなく、例文や語法の説明を含む、より詳しい別の辞書です。

¶ 答案例

例文や語法の説明が載っている、より詳しい辞書。

(?) 不十分な答案

最初買った辞書。

それでは、前に出た同じ辞書そのものを指す it の意味になってしまいます。one は、前に出た dictionary と同じ種類ではありますが、別の辞書を表しています。また、より詳しい辞書だけでも大まかな意味は伝わりますが、本文では例文や語法の説明を含むことまで述べられています。

■ ポイント

one の前後に修飾語がある場合は、それを落とさないようにします。特に、形容詞 + one
one + 関係詞節という形では、両方の修飾内容を答案に含めることが重要です。

one を読むときの確認手順

- ① one の前に出てきた可算名詞を探す。
- ② one をその名詞に置き換えて、意味が自然につながるか確認する。
- ③ 前に出た同じものか、同じ種類の別のものかを判断する。
- ④ one の前後にある修飾語を確認する。
- ⑤ 答案では、「どのような別の○○か」を具体的に書く。

チェック

- ☐ one が受ける名詞は何か。
 - ☐ one をその名詞に置き換えて意味が通るか。
 - ☐ 前に出たものそのものではなく、同じ種類の別のものではないか。
 - ☐ 前後で比較や対比が行われていないか。
 - ☐ 形容詞・比較級・関係詞節などを答案に含めているか。
 - ☐ one を単に「もの」と訳して終わっていないか。
-

8 such がついている場合

such は、「そのような」「その種の」という意味を表します。this や that が、前に述べられた特定の物・事柄・内容を直接指すことが多いのに対し、such は、前に説明されたものの種類・性質・特徴をまとめて受けることが多い語です。

例えば、

- such behavior
- such a system
- such an attitude
- such a method

- such conditions
- such a situation

などが現れた場合、前文には behavior や system という同じ名詞が書かれていないことも少なくありません。

その代わり、前文には、

- どのような行動なのか
- どのような制度なのか
- どのような態度なのか
- どのような状況なのか

という具体的な内容が説明されています。

したがって、such + 名詞は、

前に述べられた内容を、「そのような種類の○○」としてまとめ直した表現と考えることが重要です。

ここでは、次の二つに分けて考えます。

4-1 such + 名詞が前の行動や出来事をまとめる場合

4-2 such + 名詞が前の制度や仕組みをまとめる場合

まず、such の後ろに置かれている名詞を確認します。その後、前文の中から、その名詞の種類・性質・特徴に当たる内容を探します。記述問題では、such を単に「そのような」と訳すだけでは十分ではありません。「どのような行動なのか」「どのような制度なのか」まで具体的に書くことが必要です。

8-1 such + 名詞が前の行動や出来事をまとめる場合

このタイプでは、前文で説明された行動・態度・出来事などを、

- such behavior
- such conduct
- such an attitude
- such a practice
- such a response

などの表現でまとめ直します。

この場合、前文に同じ名詞がなくても、行動や態度の具体的な内容が説明されていれば、それが such の指す内容になります。答案では、「そのような行動」と書くのではなく、どのような行動なのかを前文から具体的に説明します。

8-2 such + 名詞が前の制度や仕組みをまとめる場合

such は、前文で説明された制度・方法・仕組み・条件などを受けます。

例えば、

- such a system

- such a method
- such a policy
- such an arrangement
- such conditions

などです。

この場合、前文には system や method という語がなくても、

- 誰を対象とするのか
- 何を基準とするのか
- どのように行われるのか
- 何を考慮しないのか

といった仕組みの内容が説明されています。記述問題では、それらを整理し、**「どのような制度・方法・条件か」**という形で具体的にまとめます。

例題 16

下線部 Such behavior とは、具体的にどのような行動か。日本語で答えなさい。

Some users read only the headlines of online articles and share them without checking the actual content. Such behavior can spread misleading information before anyone has time to correct it.

全訳：オンライン記事の見出しだけを読み、実際の内容を確認せずに共有する利用者もいる。そのような行動は、誰かが訂正する時間を持つ前に、誤解を招く情報を広める可能性がある。

●対応箇所

read only the headlines of online articles and share them without checking the actual content

✓読み方

Such behavior の such は、前文で述べられた行動の種類を受けています。前文には、次の三つの行動が含まれています。

- オンライン記事の見出しだけを読む
- 実際の内容を確認しない
- 記事を共有する

答案では、この三つを一つの行動としてまとめます。

¶答案例

オンライン記事の見出しだけを読み、実際の内容を確認せずに共有する行動。

(?)不十分な答案

記事を共有する行動。

これでは、「見出しだけを読むこと」と「内容を確認しないこと」が抜けています。

本文の問題点は、単に共有することではなく、内容を確認せずに共有することです。

例題 17

下線部 such a system とは、具体的にどのような制度を指すか。日本語で説明しなさい。

In some workplaces, employees are evaluated almost entirely by the number of tasks they complete, regardless of the difficulty or quality of the work. Critics argue that such a system encourages speed rather than careful judgment.

全訳：職場によっては、従業員は仕事の難しさや質とは関係なく、完了した仕事の数だけで、ほぼ全面的に評価される。批判する人々は、そのような制度は慎重な判断よりも速さを促すと主張している。

●対応箇所

employees are evaluated almost entirely by the number of tasks they complete, regardless of the difficulty or quality of the work

✓読み方

such a system は、直前に説明された評価制度を受けています。

- ・ 前文には system という名詞はありません。しかし、誰を評価するのか
- ・ 何を基準に評価するのか
- ・ 何を考慮しないのか

という制度の仕組みが説明されています。必要な内容は次の三つです。

- ・ 従業員を評価する
- ・ 完了した仕事の数を主な基準にする
- ・ 仕事の難しさや質は考慮しない

¶答案例

仕事の難しさや質を考慮せず、完了した仕事の数だけで従業員を評価する制度。

■ポイント

such の後ろにある名詞と、前文にある名詞が一致するとは限りません。such a system とあれば、前文の中から、制度や仕組みとしてまとめられる内容を探します。

9 so が前に述べられた内容を表す場合

so は、前に述べられた内容を受けて、「そう」「そのように」という意味を表します。this や that、such のように名詞や内容を直接受けるのではなく、前に述べられた動作・状態・判断・文の内容全体を受けることが多い語です。

例えば、

- ・ think so

- believe so
- hope so
- do so
- if so
- say so

などが現れた場合、前文には so に対応する語がそのまま書かれているとは限りません。
その代わり、前文には、

- 何をそう思うのか
- 何をそう信じるのか
- 何をそう願うのか
- 何をそのように行うのか
- 「そう」とはどのような状況なのか

という具体的な内容が説明されています。

したがって、so は、前に述べられた動作・判断・状態・内容全体をまとめて受ける表現と考えることが重要です。ここでは、次の二つに分けて考えます。

5-1 so が前の判断や内容を受ける場合

5-2 so が前の動作や行為を受ける場合

まず、so がどのような表現の中で使われているかを確認します。その後、前文や前の節に戻り、「そう」が何を表しているのかを具体的に探します。記述問題では、so を単に「そう」と訳すだけでは十分ではありません。「そう」とは何かを本文の内容に即して具体的に説明することが重要です。

9-1 so が前の判断や内容を受ける場合

このタイプでは、前に述べられた判断・考え・内容などを、

- think so
- believe so
- hope so
- expect so
- suppose so

などの表現で受けます。この場合、前文に述べられた内容全体が so の指す内容になります。答案では、「そう思う」と訳すだけでなく、何をそう思うのかを具体的に説明します。

9-2 so が前の動作や行為を受ける場合

so は、前文で述べられた動作や行為を受けることもあります。

例えば、

- do so
- if so

- say so

などです。この場合は、前文に述べられた行動や状況を確認し、

- 「何をする」のか
- 「もし何がそうなら」なのか
- 「何をそう言う」のか

を具体的に説明します。記述問題では、前文の内容をそのまま書き戻し、「そう」が表している動作や内容を具体化することが重要です。

例題 18

下線部 do so とは、具体的に何をすることか。日本語で答えなさい。

Many people say that they want to reduce the amount of plastic they use. However, they often find it difficult to do so because inexpensive plastic products are available everywhere.

全訳: 多くの人は、自分たちが使用するプラスチックの量を減らしたいと言う。しかし、安価なプラスチック製品が至る所で手に入るため、実際にそうすることは難しいと感じることが多い。

●対応箇所

reduce the amount of plastic they use

✔読み方

do so の so は、前文にある動作の内容を受けています。do は「する」、so は「そのように」という意味なので、do so 全体で、直前に述べられた行為を繰り返さずに表しています。

前文では、人々がしたいこととして、

- 自分たちが使用するプラスチックの量を減らす

という内容が述べられています。したがって、do so は、自分たちが使用するプラスチックの量を減らすことを指します。

¶答案例

自分たちが使用するプラスチックの量を減らすこと。

(?) 不十分な答案

プラスチックを使うこと。

これでは、so が受けている内容を正しく表していません。本文で述べられているのは、単にプラスチックを使うことなく、その使用量を減らすことです。

■ポイント

do so が用いられている場合は、前の文から「何をするのか」を表す動詞句を探します。主語や時制が変わっていても、so が受ける中心内容は、前に述べられた動作です。

例題 19

下線部 If so とは、具体的にどのような場合を指すか。日本語で説明しなさい。

Some researchers suggest that children may learn more effectively when they are allowed to choose the order in which they complete their tasks. If so, schools may need to reconsider how strictly they control classroom activities.

全訳：子どもは、自分が課題を終える順序を選ぶことを認められると、より効果的に学習する可能性があると考える研究者もいる。もしそうであるなら、学校は教室での活動をどの程度厳しく管理するかを考え直す必要があるかもしれない。

●対応箇所

children may learn more effectively when they are allowed to choose the order in which they complete their tasks

✓読み方

If so の so は、直前の文で述べられた内容全体を受けています。If so は、「もしそのことが正しいなら」「もし実際にそうであるなら」という意味です。

直前の文には、次の内容が含まれています。

- 子どもが課題を行う順序を自分で選べる
- その場合、より効果的に学習できる可能性がある

したがって、If so が表すのは、

子どもが課題を行う順序を自分で選ぶことで、より効果的に学習できる場合です。

¶答案例

子どもが課題を行う順序を自分で選ぶことで、より効果的に学習できる場合。

(?)不十分な答案

子どもが課題を行う場合。

これでは、so が受けている中心的な内容である、

- 順序を自分で選ぶこと
- より効果的に学習できること

が表されていません。

■ポイント

If so の so は、一つの名詞ではなく、直前に述べられた判断・仮説・可能性など、文全体の内容を受けることが多くあります。そのため、答案では「もしそうなら」とだけ書くのではなく、「何がそうなのか」を具体的に説明します。

例題 20

下線部 think so とは、具体的に何を思うことか。日本語で答えなさい。

Many people assume that working longer hours always leads to better

results. They think so because they tend to measure effort by the amount of time spent at work.

全訳:長時間働けば必ずよりよい成果につながると考える人は多い。彼らがそう考えるのは、努力を仕事に費やした時間の長さによって測る傾向があるからである。

●対応箇所

working longer hours always leads to better results

✓読み方

think so の so は、直前に示された考えの内容を受けています。この場合、so が指しているのは、単に「働くこと」ではなく、

長時間働けば必ずよりよい成果につながる

という判断全体です。

think so、believe so、suppose so などでは、so の前にある動詞が「考える」「信じる」「推測する」という意味を表します。したがって、so が受けているのは、前に述べられた考えや判断の内容です。

¶答案例

長時間働けば必ずよりよい成果につながると思うこと。

(?)不十分な答案

長時間働くと思うこと。

これでは、「よりよい成果につながる」という重要な内容が抜けています。so は working longer hours だけではなく、working longer hours always leads to better results という文全体を受けています。

■ポイント

think so、believe so、suppose so、hope so などでは、so の直前にある動詞だけを見るのではなく、その前に述べられた判断・予想・希望の内容を探します。

10 otherwise が用いられている場合

otherwise には複数の意味がありますが、記述問題では、前に述べられた内容を受けて、その反対の状況や、それ以外の場合を表す副詞として用いられることが多くあります。

特に重要なのは、次の二つの用法です。

- 「そうでなければ」(if not)
- 「その他の点では」(in other respects)

同じ otherwise でも、文の構造や前後関係によって意味が変わるため、まずは何を受けているのかを確認することが重要です。

例えば、

- Study hard; otherwise, you will fail the exam.
- The hotel was excellent. Otherwise, we enjoyed our stay.

では、otherwise の意味は異なります。そのため、otherwise を見つけたら、

- 「そうでなければ」と読めるのか
- 「その他の点では」と読めるのか

を文脈から判断する必要があります。ここでは、次の二つに分けて考えます。

5-1 otherwise が「そうでなければ」を表す場合

5-2 otherwise が「その他の点では」を表す場合

まず、otherwise の前に述べられている内容を確認します。その後、otherwise が前文とは反対の結果を述べているのか、それとも前文以外の点について述べているのかを判断します。

記述問題では、otherwise を単に「そうでなければ」「その他の点では」と訳すだけでは十分ではありません。「そう」とは何を指しているのか、どの内容を受けているのかを具体的に説明することが重要です。

10-1 otherwise が「そうでなければ」を表す場合

この otherwise は、直前に述べられた内容を否定した条件を表します。例えば、You must leave now; otherwise, you will miss the train. であれば、今出発しなければ、電車に乗り遅れる。という意味です。otherwise を具体的に説明するときは、直前の内容を否定形に変えます。

otherwise

= if not

= if this does not happen

= if that is not done

と考えると分かりやすくなります。

例題 21

下線部 otherwise は、具体的にどのような場合を表しているか。日本語で答えなさい。

Young children need repeated opportunities to use newly learned words in meaningful situations; otherwise, the words may remain only temporary items in their memory.

全訳：幼い子どもには、新しく学んだ語を意味のある場面で繰り返し使う機会が必要である。そうでなければ、その語は記憶の中に一時的に残るだけになる可能性がある。

●対応箇所

if young children do not have repeated opportunities to use newly learned words in meaningful situations

✓読み方

otherwise は、セミコロンの前にある内容全体を受けています。前半では、幼い子どもには、新しく学んだ語を意味のある場面で繰り返し使う機会が必要であると述べられています。

otherwise は、その内容を否定して、そのような機会がなければという条件を表します。答案では、「そうでなければ」と書くだけでは不十分です。「そう」が具体的に何を指すのかを明らかにします。

¶答案例

幼い子どもが、新しく学んだ語を意味のある場面で繰り返し使う機会を持たない場合。

例題 22

下線部 otherwise は、どのような状況を表しているか。日本語で説明しなさい。

Researchers must clearly distinguish between correlation and causation; otherwise, they may mistake two events that occur together for a relationship in which one directly produces the other.

設問

全訳：研究者は、相関関係と因果関係を明確に区別しなければならない。そうでなければ、同時に起こる二つの出来事を、一方が他方を直接生み出す関係だと誤って考える可能性がある。

●対応箇所

if researchers do not clearly distinguish between correlation and causation

✓読み方

otherwise は、セミコロンの前にある、Researchers must clearly distinguish between correlation and causation.を否定形に変えます。must distinguish は「区別しなければならない」という意味です。したがって、otherwise は、区別しなければならないではなく、より具体的には、研究者が相関関係と因果関係を明確に区別しない場合を表します。

¶答案例

研究者が、相関関係と因果関係を明確に区別しない場合。

注意点

otherwise の後ろには、そうしなかった場合の結果が書かれます。

- ここでは、条件：相関関係と因果関係を区別しない
- 結果：同時に起こることを因果関係だと誤解する

という関係です。設問が otherwise の内容を問う場合は、条件の方を答えます。

10-2 otherwise が「その他の点では」を表す場合

otherwise は、「そうでなければ」以外に、in other respects「その他の点では」という意味で使われることがあります。この場合、前に述べられた一つの点を除き、それ以外の面について述べます。

例題 23

下線部 otherwise は、本文中でどのような意味に用いられているか。日本語で答えなさい。

The village appears isolated during the winter, but it is otherwise well connected to surrounding towns by buses and trains.

全訳: その村は冬の間は孤立しているように見えるが、それ以外の点では、バスや電車によって周辺の町と十分につながっている。

✔ 読み方

この otherwise を「そうでなければ」と訳すと、意味が通りません。前半では、冬の間は孤立しているように見えると述べています。後半では、それ以外の点について、周辺の町と十分につながっていると説明しています。したがって、この otherwise は、冬の間は孤立しているという点を除けば、その他の点ではという意味です。

¶ 答案例

冬の間は孤立しているという点を除けば、その他の点では。

3 実例 大阪大学の入試問題

Take a moment to pay attention to your hands. It will be time well spent, because they are evolutionary ⁽ⁱ⁾marvels. Hold one up and examine it. Open and close it. Play with your fingers. Touch the tips of your four fingers with your thumb. Rotate your wrist. You should be able to turn it 180 degrees with ease. Ball your hand up into a fist until your thumb lies on top of and lends support to your index, middle, and ring fingers. That is something no ape can do.

Twenty-seven bones connected by joints and ligaments, thirty-three muscles, three main nerve branches, connective tissue, blood vessels, and skin equipped with highly sensitive touch receptors are behind ^(A)the most delicate and most complex tool for grasping and touching that evolution has ever produced. The palm is protected by a massive sheet of fibrous tissue that makes it possible to grip things powerfully. The fingers are slender and small-boned, partly because they contain no muscles. They are controlled remotely, like puppets hanging from strings. But those strings are highly flexible *tendons attached to muscles found not only in the palm of the hand and forearm but also all the way up to the shoulder.

Between this equipment and our complex brains, we can do things no other creatures on the planet are capable of doing: kindling fire, gathering the finest ⁽ⁱⁱ⁾kernels of grain from the ground, knitting, cutting, knotting nets, turning tiny screws, typing on a keyboard, or playing basketball or a musical instrument.

Our thumbs have a special role to play in our ⁽ⁱⁱⁱ⁾dexterity. We can easily match them up with any finger. That allows us to feel and touch, to grab and hold. The saddle joint at the base of the thumb rotates like a ball joint. Our thumb is much longer, more powerful, and more flexible than that of our nearest relatives, the great apes. It allows us to ^(iv)execute a delicate grip as easily as a powerful pinch. Chimpanzees can also clamp small objects between the sides of their thumbs and their fingers, but much less forcefully and without any sensory input from their fingertips. That means they have no means to hold or move tools such as pens or screws precisely between the tip of their thumb and their other fingers.

A great ape holds larger tools — a stick, for example — pressed into their palm at right angles to their forearm. There are not many other options available to them. In contrast to chimpanzees and gorillas, we have highly flexible wrists that allow us to hold an object so that it becomes an extension to our forearm. ^(B)This intensifies the force of a blow. It also means enemies and dangerous animals can be kept at arm's length. If an animal does come within range and full advantage is then taken of the extra *leverage, bones can be broken.

It is not only the flexibility granted by the fully opposable thumb that makes the

human hand so special, but also its extraordinary ability to feel and to touch. It operates almost like an independent sensory organ. We use it to feel the temperature of a breeze and of water. With its help we are able to fit a key directly into a lock, even in the dark. We can detect uneven surfaces with our fingers that we cannot see with our naked eye. With a little bit of practice, we can use our fingers to tell real silk from synthetic silk or real leather from fake leather, even with our eyes closed.

Our sense of touch detects delicate differences and sends this information via a dense network of receptors and neural pathways to our spinal cord and from there to our brain. Our fingers can even replace our eyes as ways to perceive the world, as the Dutch paleontologist Geerat Vermeij, who has been blind since the age of three, can attest. A specialist famous for his work on marine *mussels and their ecosystems, he has never seen a fossil. Out in the field, he feels the complex structures of mussels and of the rocks in which they are found. With his fingers, he “sees” details many sighted scientists miss. There is no doubt about it: our hands are an (v)exceptional development in the history of evolution.

(Böhme, Madelaine, Braun, Rüdiger & Breier, Florian. 2020. *Ancient bones: Unearthing the astonishing new story of how we became human* (Jane Billingham, Trans.). Greystone Books より一部改変)

*tendons: 腱

*leverage: てこの作用, 力

*mussels: ムラサキイガイ

設問(2) 下線部(A) the most delicate and most complex tool は具体的には何を指しているか, 日本語で答えなさい。

設問(3) 第 2 段落で著者は人の指について「糸で吊るされた操り人形のような」と述べていますが, これは人の指がどのような仕組みで動くことを表したもののか, 本文中から読み取り, 45 字程度の日本語で答えなさい。句読点も 1 字に数えます。

設問(4) 下線部(B) This の指す内容を日本語で答えなさい。

設問(6) 世界を知覚するにあたって指が目の代わりになることを古生物学者の Geerat Vermeij 氏の例はどのように示しているか, 本文の内容に即して 65 字程度の日本語で説明しなさい。句読点も 1 字に数えます。

設問(1)同意語選択問題(5)内容一致問題は割愛

設問(2)

下線部(A)the most delicate and most complex tool は具体的には何を指しているか、日本語で答えなさい。

対応箇所

Twenty-seven bones connected by joints and ligaments, thirty-three muscles, three main nerve branches, connective tissue, blood vessels, and skin equipped with highly sensitive touch receptors are behind the most delicate and most complex tool for grasping and touching that evolution has ever produced.

読み方

下線部は、the most delicate and most complex tool という抽象的な表現です。設問では、この tool が具体的に何を表しているのかを答える必要があります。

直前には、

- 27 個の骨
- 33 の筋肉
- 三つの主要な神経枝
- 結合組織
- 血管
- 高感度の触覚受容器を備えた皮膚

が、この「道具」を構成していることが説明されています。さらに、第 1 段落では読者に自分の hands へ注意を向けるよう促しています。したがって、下線部が指すのは、進化によって生み出された、人間の手です。

答案例

物をつかんだり触れたりするための、進化が生み出した人間の手。

[31 字]

不十分な答案①

物をつかんだり触れたりするための、人間の優れた道具であるということ。

[34 字]

解説

「道具」であることは述べていますが、何という道具なのかが示されていません。本文では、人間の手そのものを指しています。

不十分な答案②

進化によって作られた最も精巧で複雑な器官であるということ。

[30 字]

解説

「器官」と抽象的にまとめているため、手という具体的な対象が示されていません。

ポイント

the + 抽象名詞が現れたら、その名詞だけを訳すのではなく、「具体的に何を指しているのか」を前後から読み取ることが重要です。

設問(3)

第 2 段落で著者は人の指について「糸で吊るされた操り人形のように」と述べていますが、これは人の指がどのような仕組みで動くことを表したもののか、本文中から読み取り、45 字程度の日本語で答えなさい。

対応箇所

The fingers are slender and small-boned, partly because they contain no muscles. They are controlled remotely, like puppets hanging from strings. But those strings are highly flexible tendons attached to muscles found not only in the palm of the hand and forearm but also all the way up to the shoulder.

読み方

比喩の対応関係を整理します。

- puppets = 指
- strings = 腱
- 操る力 = 手のひら・前腕・肩の筋肉

本文では、指そのものには筋肉がなく、手のひらや前腕、肩にある筋肉が腱を通して指を動かしていることを説明しています。

答案には、

- 指に筋肉がないこと
- 腱が筋肉につながっていること
- 筋肉の力で動くこと

を書く必要があります。

答案例

指そのものには筋肉がなく、手のひらや前腕、肩の筋肉につながる腱によって遠隔的に動かされる仕組み。

[50 字]

不十分な答案①

指には筋肉がなく、腱につながっているため自由に動かすことができるという仕組み。

[45 字]

解説

指に筋肉がないことは書かれていますが、腱を動かしている筋肉が手のひらや前腕などにあることが抜けています。

不十分な答案②

指は腱につながっており、その働きによって自在に動かせるようになっている仕組み。

〔44 字〕

解説：腱については述べていますが、筋肉が腱を介して遠隔的に指を動かすという本文の中心内容が書かれていません。

設問(4)

下線部(B) This の指す内容を日本語で答えなさい。

対応箇所

In contrast to chimpanzees and gorillas, we have highly flexible wrists that allow us to hold an object so that it becomes an extension to our forearm. This intensifies the force of a blow.

読み方

まず直前の文を確認します。本文では、人間は柔軟な手首によって、物を前腕の延長となるように持てると説明されています。This は、柔軟な手首そのものではなく、柔軟な手首によって物を前腕の延長として持てることを受けています。

答案例

人間が柔軟な手首によって、物を前腕の延長となるように持てること。

〔36 字〕

不十分な答案①

人間の手首が非常に柔軟で、自由に動かすことができるということ。

〔34 字〕

解説：柔軟な手首について述べていますが、物を前腕の延長として持つことが抜けています。

不十分な答案②

人間の手首は類人猿より柔軟で、さまざまな方向へ動かせるということ。

〔37 字〕

解説：本文では手首の柔軟性そのものではなく、その結果として物を前腕の延長として保持できることを指しています。

設問(6)

世界を知覚するにあたって指が目の代わりになることを古生物学者 Geerat Vermeij 氏の例はどのように示しているか、本文の内容に即して 65 字程度の日本語で説明しなさい。

対応箇所

Geerat Vermeij, who has been blind since the age of three, can attest. A specialist famous for his work on marine mussels and their ecosystems, he has never seen a fossil. Out in the field, he feels the complex structures of mussels and of the rocks in which they are found. With his fingers, he “sees” details many sighted scientists miss.

読み方

必要な要素は次の三つです。

- 三歳から盲目であること
- 指で貝や岩の複雑な構造を感じ取ること
- 目の見える科学者が見落とす細部まで分かること

設問は、指が目の代わりになることを説明する問題です。したがって、単に研究内容を書くのではなく、触覚によって視覚と同じ役割を果たしていることまでまとめます。

答案例

三歳から盲目の古生物学者が、野外で貝や岩の複雑な構造に触れ、目の見える科学者が見落とす細部まで捉えていること。

[69 字]

不十分な答案①

三歳から盲目の古生物学者が、野外で貝や岩の複雑な構造に触れながら研究を続け、その成果を上げていること。

[68 字]

解説: 字数は十分ですが、

- 目の見える科学者が見落とす細部まで捉えること
- 指が目の代わりになっていること

が書かれていません。

不十分な答案②

三歳から盲目の古生物学者が、野外で貝や岩の複雑な構造を指で調べ、その特徴を理解して研究に役立てていること。

[69 字]

解説: 研究内容は説明していますが、

- 触覚によって世界を知覚していること
- 視覚をもつ科学者との比較

という本文の核心が抜けています。